

# 郵政民営化に対する組合員の声等

2012年11月15日

全国生命保険労働組合連合会(生保労連)

## 組合員の声

### 1. 郵政改革(民営化)に関する署名活動の実施

#### (1) 署名の趣旨

- 民間金融機関との公平・公正な競争条件の確保が必要不可欠
- かんぽ生命等の肥大化による民業圧迫は認められない
- 加入限度額の緩和をはじめとした新規業務拡大は認められるべきではない

#### (2) 実施内容・結果

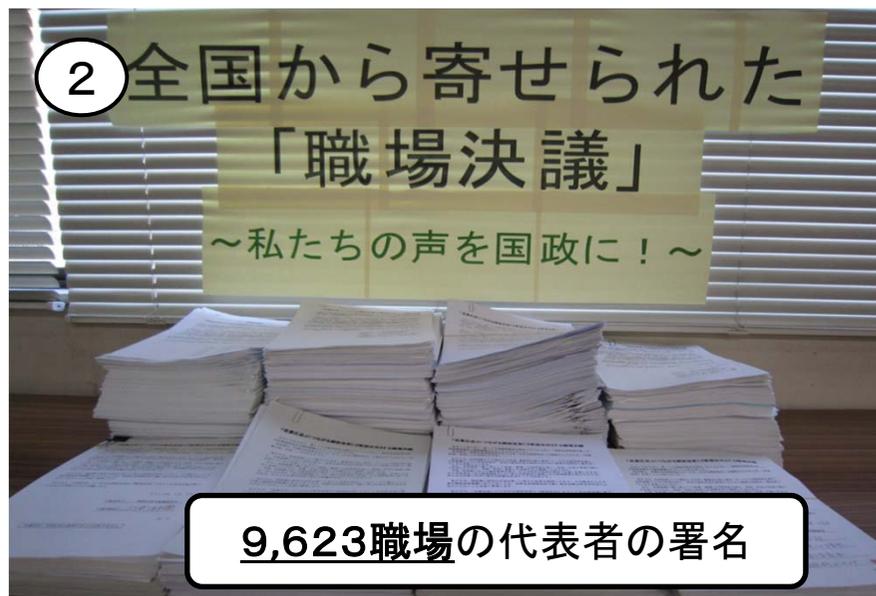
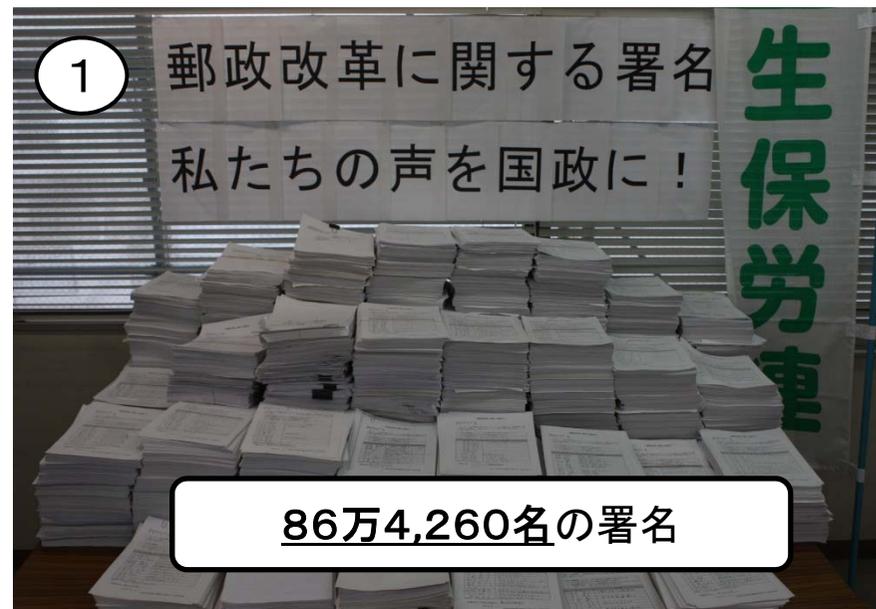
##### ① 郵政改革に関する署名

- ・時期: 2010年2月～3月
- ・対象: 組合員および家族、職場の仲間等
- ・結果: 86万4,260名の署名が集まる

##### ② 郵政改革に関する職場決議(職場代表者の署名)

- ・時期: 2011年12月～翌年1月
- ・対象: 生保労連加盟組合の職場の代表者
- ・結果: 9,623職場(ほぼ全て)の職場の代表者の署名が集まる

### <生保労連に寄せられた署名の束>



## 2. 学資保険改定の報道等に対する組合員の声

- ここ数週間の民営化委員会における議論の動向等の報道を受け、現地の組合員から生保労連本部に数多くの声が寄せられている。
- その多くが、安心感があるというイメージが定着しているかんぽ生命が新商品を出すことに対する販売面への影響を不安視する声である。

### 国民の声

- 生保労連が実施したインターネット調査会社によるアンケート調査によると、
  - ・かんぽ生命の加入理由については、多くの国民が
    - －「信頼感・安心感がある」
    - －「政府出資があり、政府の関与が期待できそう」と回答しており、国民にこれらの意識が定着していることがうかがえる。
  - ・また、民業圧迫に対する意識については、多くの国民が民間生保に影響がでると考えている。

◆「郵政改革に関する国民意識調査」実施概要◆  
 調査方法：インターネット調査会社によるアンケート調査  
 調査時期：2010年10月15日～17日  
 調査対象：一般個人(20歳以上)1,046名を対象に実施

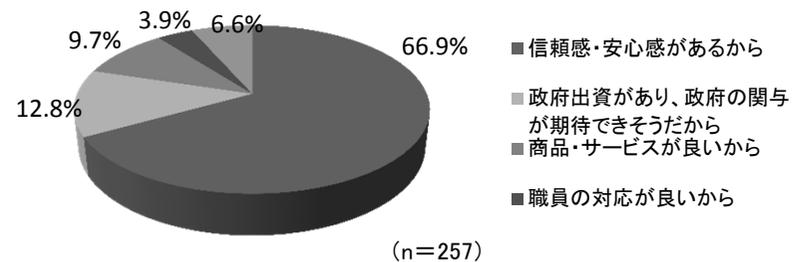
## <生保労連に寄せられた組合員の主な声>

- ・安心・安全なイメージが定着しているかんぽ生命が新商品を発売したら、我々の保険はますます売れなくなってしまう。
- ・不景気の中、子ども保険や医療保険等でやっとお客様にアプローチできているのに、新しい学資保険が発売されたら、ますます提案が難しくなってしまう。

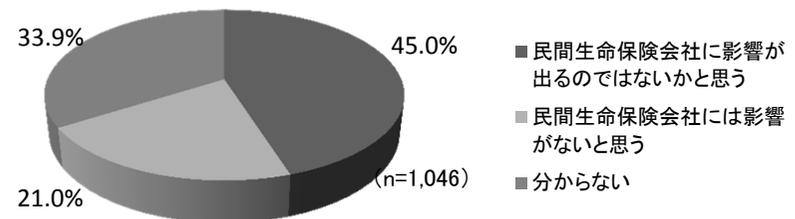
## <アンケート調査結果(抜粋)>

Q. あなたが「かんぽ生命」の生命保険に加入した（あるいは加入を検討している）一番の理由は何ですか

【対象：「かんぽ生命(旧簡易保険を含む)」に加入している(加入を検討している方)】



Q. 政府の間接出資(3分の1超)を残したままで「かんぽ生命」等の業務範囲を拡大することが検討されましたが、これによる民間生命保険会社への影響についてどう思いますか。【対象：全員】



## －生保労連の主張－

- 郵政民営化にあたっては、組合員が日々生命保険販売の現場で実感している思いを、これまで実施してきた署名活動というかたちによって、国政・行政等に伝え、くりかえし「公平・公正な競争条件の確立」がなされなければ、業務範囲の拡大は認められない旨を主張してきた。
- 組合員から寄せられている声等を踏まえ、郵政民営化委員会において、改正郵政民営化法に定められている新規業務の認可の条件である「他の生命保険会社との適正な競争関係を阻害するおそれがないと認められるとき」に充分留意いただき、適切な判断がなされることを強く要望する。